

令和6年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和5年度事務事業 〕

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	路面電車活性化事業	事業番号	017-013
担当部署名	建築都市局交通部	交通政策担当	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画 2025	施策 との 関連	有・無	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築	
			有	取組の方向性	⑤生活基盤としての公共交通の維持確保			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.2	
			有	取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画			
3	事業開始年度	平成 16 年度	点検対象年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱 堺市鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金交付要綱・堺市路面電車施設高度化事業費補助金交付要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	阪堺線沿線住民や通勤・通学者、来街者などの阪堺線利用者。7,172,038人（令和5年度年間利用推計者数）	対象数	単位
			7,172,038	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	阪堺線堺市内区間の軌道施設の改修等が実施されることにより、保安度の向上を図る。 設備の高度化を促すことにより、利用者の利便性向上に取り組むことで阪堺線利用者数の増加を図る。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	阪堺電気軌道（株）に対し、阪堺線の軌道施設の改修や施設の高度化等のための経費を補助する ■ 令和5年度の実施内容 ・堺市鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金（施設・車両の老朽化対策、車両検査） ・路面電車施設高度化事業費補助金（堺トラム再塗装、大和川停留場美装化） ・阪堺線利用状況調査（阪堺電車OD調査業務） ■ 令和6年度の実施内容 ・堺市鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金（施設・車両の老朽化対策、車両検査） ・路面電車施設高度化事業費補助金（停留場美装化）		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	阪堺電気軌道株式会社		
10	公民連携・協働事業			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			目標値	7,382,107	7,382,107	7,382,107
阪堺線・上町線の年間利用推計者数	人	実績値	6,853,711	7,172,038		
		達成率	93%	97%		
		当該指標を選定した理由				
当該指標を選定した理由		当事業の目的である「阪堺線利用者数の増加」を成果指標とする				
目標値の設定根拠・算出方法		新型コロナウイルスの影響を考慮し目標修正。H30年度比でR4～R6年度は90%、R7年度は100%とする。				
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			目標値	2	2	
老朽化対策実施箇所	か所	実績値	2	2		
		達成率	100%	100%		
		当該指標を選定した理由				
当該指標を選定した理由		老朽化対策を実施することで安全安心な路線が確保されることにより、保安度の向上を図るため				
目標値の設定根拠・算出方法		要対策箇所より設定				

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	路面電車活性化事業	事業番号	017-013
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト				※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。		(単位：千円)
13 財 源 内 訳	項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
	事業費 (a)	47,319	15,239	31,290	24,931	24,496
	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他 (寄附金)		999	1,200	1,040	3,000
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	47,319	14,240	30,090	23,891	21,496
	14	人件費 (b)	12,040	11,900	10,980	10,980
15	年間経費(c)=(a)+(b)	59,359	27,139	42,270	35,911	35,866

事業費の内訳										(単位：千円)	
16	事業費内訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金	R5	決算	15,747	15,747		R5	決算		
			R6	予算	21,386	21,386		R6	予算		
		路面電車施設高度化事業費補助金	R5	決算	3,355	2,315		R5	決算		
			R6	予算	3,000	0		R6	予算		
		阪堺線利用状況調査委託料	R5	決算	5,828	5,828		R5	決算		
			R6	予算	0	0		R6	予算		
		廃棄物処理・運搬等委託料	R5	決算	0	0		R5	決算		
			R6	予算	100	100		R6	予算		
		保険料	R5	決算	1	1		R5	決算		
R6	予算		10	10	R6	予算					

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費					
17		区 分	単位	令和4年度	令和5年度
	①	阪堺線・上町線の年間利用推計者数	人	6,853,711	7,172,038
	②	上記①にかかる年間経費	千円	14,240	23,891
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	2	3
	備考（算出についての説明等）				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	施設の老朽化対策に対する鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金について、令和5年度は施工内容から過年度と比較し事業費が増えている。また、路面電車施設高度化事業費補助金については、クラウドファンディングによる寄附金を活用し事業を実施している。単位当たり経費は令和4年度と比較し、1.5倍となった。 老朽化対策の実施により、施設の安全性が確保されている。
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	阪堺線の維持確保、交通ネットワークの構築に向けて、阪堺線堺市内区間の軌道施設の改修等による施設の安全性の向上に取り組んだ。本事業によって保安度の向上並びに利用者の利便性の向上が図られており、阪堺線利用者数の増加に寄与しているものと考えている。